

12月19日の学校給食における異物混入について

このたびの相次ぐ学校給食の金属異物混入により、各小中学校・幼稚園の関係の皆様及び保護者の皆様に、多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたこと、改めてお詫びいたします。

記

1. 12月19日に発生した異物混入について

1) 発生日時・場所

- ①平成30年12月19日(水)の給食時(12時10分頃)
- ②四絡小学校 3年1組

2) 発生時の状況

- ①同クラス教室に配食された給食副菜「ほうれんそうのごまあえ」の中に、円柱の金属(棒状のもの)(長さ約10ミリ、直径0.8ミリ程度)1個が混入していました。
- ②配膳のため、児童が「ほうれんそうのごまあえ」の食缶のふたを開けた際に異物を発見し、直ちに担任から職員室へ報告。全校に「ほうれんそうのごまあえ」の喫食を中止し、12時15分に同校から出雲学校給食センターに連絡がありました。
なお、全22クラス中4クラスはすでに喫食しておりましたが、異常はありませんでした。

3) 発生後の対応

- ①直ちに同センター職員が小学校に出向き、当該異物が金属であることを確認しました。
- ②出雲学校給食センター所管の全小中学校・幼稚園等(小学校15校、中学校6校、幼稚園16園、すずらん教室)に、「ほうれんそうのごまあえ」の喫食中止の連絡をしました。
- ③幼稚園はすべて給食が終了していましたが、異常がなかったことを確認しました。また、喫食していた一部の小学校についても、異常がなかったことを確認しました。
- ④出雲学校給食センターの調理器材等について、欠けなどがないか確認しましたが、異常はありませんでした。また、学校から帰ってくる残菜を目視確認しましたが、異物は発見されませんでした。
- ⑤直ちに成分分析を行い、異物の特定に努めます。

4) 再発防止策

日頃から、調理機器及び厨房設備の調理前中後の点検・確認、食材の目視確認及び食材納入事業者への異物混入防止の徹底指導について、取り組んでいます。

今回の事案を重く受け止め、全給食センターの調理設備・機器の総点検と調理工程の見直しを行い、異物を絶対混入させないという強い危機管理意識をもって調理にあたり、安全・安心な学校給食の提供に努めます。